

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
38歳	男性	1人	建設コンサルタント	繁忙期や自然相手の業務だと土日関係なくなるところがあるので、子供が出来てからは、家族のことがあるからとなかなか言いづらくなりましたね。	極力スケジュールを事前に家族に伝えるようにしています。
35歳	女性	2人	地方公共団体	地方公務員の採用の経緯から、ちょっと上のベテラン職員の数が際立って少なく、年代的にも後輩職員のフォローに入る立場にいる。しかし、子供の送迎の都合で勤務時間の制約もあり、自身の仕事を時間内に回すのに手一杯になり目を配れていない。	担当内の朝のミーティング時間を自身の始業時間後(部分休業で一時間遅く始業している)にしろ、後輩職員の仕事の進み具合を確認するようにし、フォローに入れるタイミングを図っている。
35歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	・官庁からの急な要求、過度な議員重視の姿勢 ・業界全体の横の繋がりの弱さ ・転勤や単身赴任の常態化	・業務や個人的な繋がりを活かした他社との情報共有
37歳	男性	2人	建設業	子供の用事の分働く時間が短縮される	特になし
39歳	男性	2人	建設業	残業が減ってきてはいるが、妻に負担をかけてしまっている点	なるべく早く帰宅できるよう業務を調整している
39歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	業務量が多く、夜遅くなるために家族とのコミュニケーションを図る時間が少なくなる。	フレックスやテレワーク等を週1ペースで活用している。
32歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	子供が小さいため、子育てに力点を置きたいが忙しい時などはなかなか早い時間に帰れない。	朝早く出社している。
38歳	男性	2人	建設業	通勤時間が無駄。かといってテレワークでは効率が悪い。	レンタルオフィス
31歳	男性	1人	建設業	共働きで子供を保育園に送迎する必要があり、妻とスケジュールを調整して送り迎えや家事の役割分担をしているが、どちらかが体調を崩してしまうと大きな負担となる。	テレワークや時差出勤の予定を柔軟に変更してもらっている。
33歳	女性	1人	鉄道・高速道路・空港	勤務時間内にこなすことができない(時間外労働を必要とする)業務量のため、同僚にしわ寄せが生じてしまっていることに辛さを感じる。	子どもを寝かしつけた後の深夜時間帯(自分の時間)でなんとか賄えるよう調整している。現状の働き方が良いとは思っていない。
34歳	女性	1人	建設業	保育園の送り迎えがあるため、限られた時間で業務を遂行しなければならぬとき。	チーム員と業務の進捗状況を共有し、時間内に終わらないものは分担して行っている。
38歳	男性	2人	建設業	プレーヤーからマネージャー、プランメーカーの両立が求められる	自分ができる仕事に限りがあるので、優先順位をつけて仕事をしている
35歳	女性	1人	建設業	定時後の時間帯を含んだ突発的な打合せなどに参加できないこと	前もってわかっている場合は配偶者と子供の送迎調整
33歳	男性	0人	建設業	書類仕事が多くなり、手が回らないとき	すぐ終わるタスクと時間のかかるタスクに分類して早めに終わらせる
33歳	男性	1人	建設業	単身赴任であるが、働き方改革により毎週の休みが確保されているが帰省旅費の補助が隔週であるため月2回は自腹で帰省している。帰らない選択肢もあるがせっかくの休日であれば家族と過ごしたいため金銭的にづらさを感じる。	現状解消できる施策がない
33歳	男性	1人	建設業	一番思うことは、勤務地が決まらない、転勤が多いということです。これは大きなことから小さなことまで全てが関わり、日常生活のうえで非常に働きづらさを感じます。具体的には、家を構える際の場所をどこにするのか？や子どもの保育園はどこで入れるのか？などです。	現在も試行錯誤&奮闘中
35歳	男性	2人	建設業	長時間労働により、子供が起きている時間に自宅に帰れないことがある。また、子供が起きる前に出社する必要があることがある。	テレワーク等を理由に、仕事を持ち帰る。仕事を外注して労働時間を削減する。仕事を断る。
34歳	男性	2人	建設業	本社勤務のため、特に働きづらさを感じることはない。	
32歳	男性	0人	建設業	現場での施工管理業務に従事していた際、朝が早く夜が遅い勤務であったこと、土曜日も出勤であったことなど生活リズムが全く合わず、家族の時間が取れなかった。台風等の災害時には、不安を抱える家族から離れて災害普及対応で数日間帰宅できなかったこと。	月に数日は残業を少なくする日を設けて、少しでも早く帰れるようにした。業務量は変わらないため、実現させるために泊まり込みで仕事をしていた。
37歳	男性	1人	建設コンサルタント	時間休がないから、子供の送り迎えができない。守秘義務の観点からリモートワークできない。	チーム内で時間等の調整を話し合っている。
34歳	男性	1人	建設業	繁忙度が高く、プライベートの時間が少ない。現場転勤で家族と離れる時期がある。	

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
36歳	男性	2人	建設業	夫婦共働き（両方フルタイム）で子ども2人を保育園に預けているが、送迎はもちろんですが、風邪等体調不良による緊急でのお迎えにより急遽、会社・現場を休まなければならない場面。現場勤務だと送迎時間も調整することが大変。	夫婦間で送迎できる日の綿密に調整
35歳	男性	2人	建設業	働きづらさを、たまに感じる。Web会議やメール、チャットなどにより、連絡手段が増えたが、対面での打合せや会話等が減ったため、ディスコミュニケーション等による障害の発生が少し増えた。	報告・連絡・相談を意識的に増やし、上司や部下とのコミュニケーションを前よりも大切に行っている。
36歳	男性	3人	建設業	発注者も含めて、残業ありきの体質であること、配置人員がどこも不足していることにより残業もやむなしといった状況。働き方改革が本当に実現するのはまだ疑問である。現場従事者に対する家事育児と仕事の両立について、ハード面であまり考えられていない。	残業は最小限にするように努めている。両立についてはもはや個人の力ではどうしようもない。
34歳	男性	0人	学校	そこまで働きづらさは感じないが、業務の絶対量が多い	適当にできる部分は適当にやる（いい意味で）
34歳	男性	3人	建設コンサルタント	人間関係がストレスです。	苦手な人とは極力かわらないようにしています。また、仕事以外のプライベートな活動も行うよう意識しています。
34歳	男性	2人	建設業	部下の話が聞かない、自分の間違いに気付かない・反省しない上司	意見しても仕方がないので、失敗しても良いから勝手に仕事を進めてもらう。
37歳	女性	2人	地方公共団体	上司の考え方によっては休みにくい	休む内容を伝える
30歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	業務過多	出張時の移動中などにも仕事を行って、残業する時間を少なくするようにしている。
34歳	女性	1人	建設業	子供と向き合う時間があまりない。教えること等ほとんどできない。家事もなかなか上手くできない。家族全員一緒になにかやることはほとんどない。家族の心配で仕事がうまくいかないときが多くなって、家も職場もどちらもやりづらくなった。	わからない
33歳	女性	2人	建設業	子どもの保育園の時間は決まっているため、物理的に時間が足りないと感じます。子どもの体調不良で急な休み、早退をしなければならないこともたびたびあり、職場へ負担をかける申し訳なさや、予定どおり仕事が進められないストレスを感じます。	限界はありますが、自宅保育しながらテレワーク、夫との分担でなんとかやっています。職場には負担をかけていると思いますが。
34歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	特に感じてはおりませんが、社内・外とのコミュニケーションが不足した場合、働きづらさを感じると思います。	普段から受発注に関わらずコミュニケーションを積極的にとるようにしております。
32歳	男性	0人	建設コンサルタント	コロナ禍（テレワーク中心の勤務）での上司、部下とのコミュニケーション不足	適宜、出社を依頼
36歳	男性	2人	建設業	残業が基本となっている働き方	早朝に仕事をする
36歳	男性	0人	建設業	酷暑だろうが雨だろうが雪だろうが嵐だろうが、現場が主体なので、その対応があること。	高機能インナーを身につけたり、リラックスタイムを確保したりしている。
32歳	女性	1人	鉄道・高速道路・空港	子供の保育園の送り迎えや体調不良による看護などで労働時間が制限される場面	夫と役割分担をして忙しい時期を乗り越える。在宅勤務を活用する。
34歳	女性	0人	建設業	海外部門に所属しており、国内部門との業務で海外の慣習・文化が理解されにくい場面が多々生じる。	丁寧な説明、事前説明を入念に行うよう心掛けています。
39歳	男性	2人	建設業	両方とも出張になって、予定を調整しないといけないとき	順番に出張を入れるようにする
34歳	男性	0人	建設業	事務所と現場が離れており、移動に時間がかかり往來が多いと効率が悪いです。	予定をたてて出来る限り業務をまとめ、移動回数を少なくする。
31歳	女性	0人	建設業	残業時間の管理が厳しくなり、法的制限も出ているため、制約されてしまうこと。また、現場などでの閉鎖された場所での、価値観の押し付け	効率上がる方法や環境を見つけていく
38歳	男性	1人	建設業	仕事の辛さや楽しさなどを話せる同年代がいない。	趣味で発散
32歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	単身赴任による家族との物理的距離	毎週帰宅する。仕事に集中する・
31歳	女性	1人	鉄道・高速道路・空港	家庭と仕事の両立するうえで、仕事の繁忙期（工事発注等）の際も、保育園の送迎等があり、自分のことだけを優先して仕事に時間を割くことができない。	出勤時間をずらして（早朝等）、仕事をする時間を確保している。
35歳	男性	2人	建設業	小さい子供がいる家庭のことを考えると、いざというときの残業や仕事上の夜の付き合いに参加しにくい。	残業：仕事を効率的に終わらせる。付き合い：割切っている。
35歳	男性	3人	建設コンサルタント	仕事が忙しく、家族との時間がほとんどとれない。	仕事を速く終わらせる工夫はしているが、効果は出ていない。

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
31歳	女性	0人	建設コンサルタント	ある程度は自分で仕事を進めることができるが、上司から他の仕事を振られたり、後輩の質問に答えたりしているなど、考えていたスケジュール通りに仕事が進まず、自分のペースを乱されることに働きづらさを感じる。	自分が担当かどうかに関わらず、チームのすべての業務の工程表を作成・管理し、上司や後輩の仕事の進捗などを把握し、忙しくなりそうな時期を予想するようにしているが、解消には至っていない。
30歳	女性	0人	鉄道・高速道路・空港	繁忙期は時間外が膨大な時間になり、夜勤が重なったりすると日常生活を制限していると感じる。	時間のあるうちにできるだけ先食いして業務にあたる。
38歳	男性	3人	建設業	残業が多々ある	時間内に業務を終了すること
30歳	男性	0人	建設コンサルタント	発注者の思い付きに管理者が迎合し、技術者の専門性や良識が生かせないこと	自らの専門性を磨き、管理者とコミュニケーションを強化している
33歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	技術的知見や業務の進め方について、多くの人との調整や意見を伺う必要があり大変である。	困っていることは早めに上司に相談する。
39歳	男性	0人	建設コンサルタント	発注者が業務内容を理解しておらず、理不尽な要求をしてくることが多くなり、残業が多くなる場面。	できる限りコミュニケーションをとり、無理なことは断れる関係を構築するよう努めている。最近では、無視することも選択肢に入れている
34歳	男性	2人	建設業	組織の人間関係 ・昔の感覚でしか図れない上司 ・意見を言った際にこちらの意図を汲まずにただ否定、叱責する上司 ・パワハラ ツールの普及による弊害 ・現場閉所ができずに現場稼働日に休暇をとる場合においても各種ツールで現場状況の確認、電話対応などを求められ休んだ気がしない(確認しないと責任感がないとみなされる)	
31歳	男性	0人	建設業	他の人が帰らないので帰りにくい	とくにない
30歳	男性	0人	学校	立替払い	貯金をしておく
32歳	男性	0人	学校		
35歳	男性	1人	建設コンサルタント	後輩社員の能力が低すぎる。作業の指示を聞かない。基礎的なことを知らない。勉強しない。作業の報告をしない。	工夫しているつもりですがうまくいっていない。
38歳	男性	3人	学校	共働きのため、子供が病気になるったりした場合、睡眠時間を短くして仕事に対応せざるを得ないとき、働きづらく感じる。	出来るだけ早く仕事を終わらせ、余裕を持つようにと思っているが、なかなか難しい。
30歳	女性	0人	建設業	現在感じていることはありません。	
32歳	男性	0人	学校	それほど働きづらさを感じていない。	
32歳	男性	2人	学校	アカデミアは規制の存在しない完全自由競争の側面が強く、周囲より早く子どもができる、競争相手よりも仕事に割く時間が少なくなっているように感じて焦りを抱くことは多い。	
30歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	仕事量は減っていないのに、残業を減らす風潮があること。	出来るだけ効率よく作業するよう意識しています。
30歳	男性	0人	建設業	開発系業務のうち、AI等のデータ取得等で月単位の出張となることがある。	極力事前に準備を行い、クリティカルとなる工程部分のみ現地で作業をして基本は開発部かテレワークでの作業への集約を図っている。
36歳	女性	1人	建設業	子育てをするため、働く時間が制限されること。他の職員にしわ寄せが行ってしまうこと。	テレワークを活用し、働く時間を作ることができている。
33歳	男性	0人	建設業	自身の業務と職員教育とのバランス	現時点での解決策は特になし
37歳	男性	1人	建設コンサルタント	毎日残業で夜が遅く、家族と直接会って話ができる機会が週末のみである。	作業の効率化。
37歳	女性	0人	建設業	もっと仕事に打ち込みたいが、結婚して以降は家庭(家事)との両立に苦慮している。	配偶者に対して「この日は仕事に集中する」、「この日は残業になりそう」等事前に相談したうえで家事分担をし、可能な日はしっかり家事をして理解を得やすいようにしている。
30歳	男性	0人	建設業	現場では拘束時間が非常に長く、私生活という感覚、時間はなかった。 生活のために仕事をしているのではなく、仕事をするために生活をしているような状態だった。	内勤に異動
37歳	男性	0人	建設業	中間管理職になり責任と仕事量が増えた。仕事が終わっても働き方改革で部下を帰らせないといけない。結果労働時間が以前よりも増えた。	休日を利用して仕事する。
31歳	男性	0人	建設業	①都心での働きづらさとして、通勤の満員電車。苦痛です。	①早めの電車に乗るようにしています。テレワークを積極的に活用しています。

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
33歳	男性	0人	建設業	朝が早く、夜が遅い	フレックス制度の導入（遅出して出社）
33歳	男性	0人	建設業	居住地が安定しないこと。	単身赴任とすること。
38歳	男性	2人	学校	職種が理由かもしれませんが、働きづらいと感じたことはありません。	
34歳	男性	2人	建設業	・海外赴任中です。言葉の壁により、スムーズなコミュニケーションが難しい点に働きづらさを感じます。	仕事に対する取組み姿勢や成果など、言葉の側面以外から構築される信頼関係を大切にしています。
33歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	テレワーク推進により、コミュニケーション不足になりがちな点	チャット機能等により、コミュニケーションをより取るようにしている。
34歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	発注業務が煩雑。	特になし。
34歳	男性	1人	建設業	テレワークとなり、業務指示に手間がかかる。	極力まとまった業務やつながりのある業務を同じ担当で行うようにしている。
31歳	男性	2人	建設業	通勤に時間がかかりすぎる。	在宅勤務を多めに取り入れている。
37歳	女性	0人	建設業	特になし。	
39歳	男性	1人	建設コンサルタント	時間外での技術力向上が出来ない。その材料として社内システムに接続したいが、時間管理の上で出来ない。	電子データではなく、アイデア整理のみに留める
33歳	男性	0人	IT	調査業務を主に実施しているが、公募されている案件の予算額が少ないことが多く結果的にたくさんの業務をこなさなければならず、長時間労働になっている。	重要となる調査項目の優先順位の徹底。顧客の真のニーズの発掘およびゴールの共有。各種集計等の自動化。金額に見合わない業務および先方の組織や担当者の傾向から案件を獲得しにいくかの取捨選択。
33歳	女性	0人	学校	ある。 雇用が安定していない(期限付き)ので、長期的な人生設計が立てづらい。 仕事量が多く、子供を産んでも働き続けることに自信がない。 仕事を生きがいと、勤務時間を問わず働くことに抵抗を感じていない上司や年配の人が多く、プライベートなことを理由として休みを取ったり、夜間や土日の打ち合わせや勉強会、学会などにNoと言いつらい。	特になし。
33歳	男性	1人	建設コンサルタント	平日の帰宅時間が遅いが、子どもと夕食やお風呂と一緒にできないこと。	水曜日には早く帰るようにしている。就業の仕方として、夕方帰宅し、夕食・お風呂を子どもと共にして、その後（自宅で）勤務ができれば解消できるが、現状の制度からは出来ない。
36歳	男性	2人	建設コンサルタント	保育園の送り迎え、子どもの発熱・病気などにより、業務にかけられる時間が少なくなる。	何も工夫できていません。
32歳	男性	2人	建設業	平日の出勤時間が早く、定時帰宅でもと子供の寝ている時間なので会えない。	平日に集中して働いて休日に家族との時間を作る。
38歳	男性	2人	官庁・独立行政法人	子育ての都合と妻のキャリア形成を考え、妻の実家の近くの家を買うことになった。結果、単身赴任となり、働きづらさを感じている。	週末、時間が合えば、家族とビデオ通話をするようにしている。
30歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	20代の頃とは違い後輩へ指導する場面も増えることに加え、上司からは責任のある仕事を直接任されることも増え、上にも下にも気配りが必要なこと。	あまり溜め込まないように、特に上司に対しては、自身の考え等をこれまで以上に言葉にするようにしている。
35歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	特になし	特になし
39歳	男性	2人	建設コンサルタント	育児との両立	在宅勤務制度の活用
38歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	特になし	
35歳	男性	0人	地方公共団体	公務員土木職特有の働きづらさというものは、日常の中にはないと感じている。水防時は24時間体制がしかれることがあるが、年に数日のため、働きづらいとまでは思わない。 工事発注後、不測の事態が生じ、工事費用が跳ね上がったたり、工期の長期延期が予想される際、肝を冷やすことがある。	事前調査、及び段取りをより綿密に行うのと。
35歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	単身赴任で仕事が多忙のとき	毎週末なるべく帰宅する
33歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	工期が決められている中での長時間労働、受発注者との膨大な書類の処理	
38歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	ない	特になし

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
33歳	女性	0人	学校	「働きづらさ」にいまいちピンとこない、仕事（働くこと）とプライベート（結婚・出産）の両立が難しいという実態はある。どちらかというプライベートを充実させづらいと感じる。	
35歳	男性	2人	建設コンサルタント	仕事量の多さ	
30歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	勤務時間が長い	集中して業務に取り組める環境を作る（早朝出勤、在宅勤務等）
36歳	男性	0人	製造業	外部から依頼される硬化コンクリートの測定材齢が、祝日にかかる。	自社の実験の測定材齢は、必ず祝日にかからないように計画して、少しでも休日出勤の負担を減らす。
36歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	特になし	
35歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	電車での通勤	テレワーク
30歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	計画通りに事柄が進まないとき	事前の計画を丁寧に実施する
33歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	今は子供がおらず夫婦とも東京勤務のため、ワークライフバランスが保てないことはないが、この先家族が増えた際に転勤となった場合は、働きづらさを感じる可能性があるかもしれない。	テレワークや外出先でのリモートワークをあえて行い、時間や場所にしばられなくても仕事を進められるスキルを養っている。
39歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	感じない	
37歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	現場管理が業務であり、土日祝日、夜勤の勤務があるため、家族との休みが合わないこと	平日休みを利用して、家族サービスを行ったりや空いている観光地に行くようにしている
34歳	女性	0人	鉄道・高速道路・空港	現在子供はいないが、年齢のこともあり出産・子育てによるキャリア中断に不安を感じる。仕事と家庭の両立について、50代以上の上司の理解が得られにくいと感じる。	信頼できる先輩社員への相談
36歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	通勤が大変	職場の近くに住む
31歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	システムや現場との距離	WEB会議などがあるがうまく機能していないものもある
36歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	夜勤等で家を不在にし、家事や育児ができないとき	
32歳	男性	1人	地方公共団体	部署間での業務の縦割り	
35歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	事務作業が多い	
37歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	関係者が異常に多い場合はつかれる	耐える
32歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	調査計画や協議の業務をしているため直接会話や打合せできないと伝わりにくい在宅勤務がしにくい	資料作成など単独で行える業務をまとめて行えるように業務計画を立てている
36歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	大きな組織であり、スピードのある判断ができない時	早期の根回し等（限界あり）
36歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	共働きかつ子供が3人いるため、突発で病院に連れていったりすることが多々あり、急遽仕事を休むことなどがある	夫婦で常に予定を共有しあい、役割分担して、やりくりしている
31歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	テレワークやフレックスが導入され、働きやすい環境となったため、なし。	
31歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	異動の多さ	キャリアプランを考える
37歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	特になし	
37歳	男性	1人	建設業	建設業のため定期的に任所が変わり、共働きであるが育児家事の負担が配偶者へ偏る	夫婦間のコミュニケーション
34歳	女性	1人	建設業	子供の体調不良で仕事を休む際、人員のフォローがない	チーム内での情報共有頻度を増やす、メールのCcの人数を増やす
31歳	女性	0人	建設業	ある。男性が多いことによる、体力の差。残業時間による精神的および肉体的疲労。	残業が当たり前ではない会社への転職を考えている。
34歳	男性	2人	建設業	子供が小さく、平日夜の子育てへ参加するためには、定時に退社する必要があるが、業界全体として定時に退社することが難しく、働きづらさを感じる	定時退社を行うために、ものすごく残業する日とノー残業デーのメリハリをつけている。
34歳	男性	2人	建設業	仕事の繁忙度に波があり、収入にも波がある。日々の生活の仕方が変わる。	平準化するようにある程度調整しているが、基本的には受け入れている。

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
30歳	男性	2人	建設業	特になし	
33歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	子供の送迎が必要な時	在宅勤務の実施
35歳	男性	2人	建設業	家族に会いに行くのに6時間以上かかるため、まとまった休みがないと帰れない	金曜半休にするなど事務所と調整してもらっている
31歳	男性	0人	建設業	特に無い	
31歳	男性	1人	建設業	終わらない仕事と、妻からの早く帰ってこいアピールの板ばさみ。	早く帰る日は早く、遅い日はとことん働く(中途半端な時間に帰っても妻からすると意味がないので)
38歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	業務で得ることのできるスキルが社内ではしか通用しない内政的なスキルが多い	有志団体やプロボノ活動など、社外での業務スキル獲得のチャンスへの積極的な参画
37歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	無い	
30歳	男性	1人	建設業	人間関係	
39歳	男性	2人	建設業	残業が多い。	無駄な業務の撲滅。
31歳	女性	1人	建設コンサルタント	・子育てしながら仕事をしていますが、残業ができません。定時になりますと、子供を迎えるため、作業が途中になっても退社します。気持ち的にはスッキリしません。 ・建設コンサルタントという職業について、保育園の先生は多分詳しく認識していません。延長保育等を言いにくいです。(先生のせいでは言いにくいではなく、自分自身から言いにくいと思います。) ・平日の子供教室や小児科等に行けません。 ・両親が遠く住んでいますので、身近くサポートが出来ません。	・残業について、主人と毎週調整します。交代制で子供の迎えを対応します。
37歳	男性	0人	建設業	特になし	特になし
32歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	勤務拘束時間が長く、家族と接する時間が少ない	テレワークの実施
37歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	業務に追われて家族との時間が少なくなる	フレックス制度を有効活用して時間を生み出している
36歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	研究はよいですが、事業者と調整等が必要な業務は、このコロナで若干影響がでている。	リモート打ち合わせの推進
31歳	女性	0人	建設業	特になし	
35歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	特段ないが家庭との両立は難しい	仕事で適度に手を抜く
35歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	基本的に自分のペースで働いているため、あまり働きづらさは感じない	早めのスケジュール管理、家族へのスケジュール共有
37歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	(コロナ禍に伴うもの) ・出社と在宅が半々程度の状況。在宅勤務の方が家族と過ごす時間が確保しやすいが、業務効率は落ちがち(セキュリティ上、データやり取りの制約が大きい) (コロナ禍に関係なく) ・広域展開企業のため2〜3年おきに定期異動があり単身赴任の覚悟は必要。 ・不便などところの勤務になりがち(プロジェクトが完成して便利になる頃には転勤)	・在宅勤務環境を整え、集中できるように(サブディスプレイ、個室確保) ・新規案件や知恵だしにかかわる会話=対面打合せ、既知の事柄=在宅Web
36歳	回答しない	2人	建設コンサルタント	企業体質、考え方は少しずつ変わってきているものの、まだまだ長時間労働を前提および是とする考え方が強く残っている点	周りの雰囲気になれないよう意識すること
37歳	男性	2人	建設コンサルタント	特にない	自由に生きること
38歳	男性	0人	建設コンサルタント	残業が多い	生産性の向上
39歳	男性	0人	建設コンサルタント	残業時間を制限され働きづらい	効率的に業務を実施することを心掛けている
31歳	男性	2人	建設コンサルタント	古い考えを持っている目上の方々に、根拠のない考えを押し付けられる	自分の考えをもつ
35歳	男性	2人	建設コンサルタント	自己学習等によるスキルアップで残業時間の短縮が図れる一方で、その分給料が減るといった矛盾が生じること。	給料が減っても効率的に仕事をして早く帰れるほうが幸せにつながるかと考えているので割り切っている。

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありませんか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
35歳	男性	3人	建設コンサルタント	共働きの家庭で小学校低学年以下の子供を2人以上別々の箇所に預けた際に、送り迎え等で働く時間が制約されている状態で突発的な対応が必要または締切間近となる場面。具体的例として、17時ダッシュ→18:00幼稚園→18:30学童。翌朝は8:00幼稚園→9時出社。夜残業も早出残業もできない状態。このタイミングで予定以上の作業量が発生すると公私どちらかが詰む。	夜再出社、始発出社後再出社など
38歳	女性	2人	建設コンサルタント	共働きで周りに頼ることができる祖父母などはいません。子供の生活を整えることが母として最重要なことだと考えていますが、どうしても仕事が忙しく、子育てと仕事のバランスが取れず苦しんでいます。小学生に上がると習い事も増え、送迎や食事の時間などが固定され、定時内で仕事を終わらせなくてはいけないのですが、業界として（官民間問わず）定時の意識が薄く、働きづらさを感じます。	土日、深夜に働かざるを得ません。（工夫とは言い切れないですが） 時短勤務や残業無しの立場の働き方ができたらよいのですが、、、
36歳	男性	1人	建設コンサルタント	仕事と育児の両立をしたいと思うと、育児になかなか時間が確保できない。体力的にも精神的にもつらいと感じる。建設コンサルタントの仕事をしていると、業務過多が常態化し9-21時勤務が長年染みついている。近年は残業抑制の風潮のため若干楽になったと思うが、年度末繁忙期は業務量から考えると、必要な場合は徹夜を辞さず、土日仕事をするのが当たり前となっている。家において睡眠か在宅勤務でない時間は、全て育児に充てているつもりだが、妻に言わせると、根本的に仕事をしている時間が世間一般(?)と比較すると多すぎ、結果的に家庭で過ごす時間は世間一般から見ると少ない部類に入るようで、妻から育児に協力的でないとと言われる。業界全体での働き方なので個人では対応に限界があるが、家庭にいと、個人として他の業界の人(妻)と比較されるのでつらい。	コロナ禍以降、在宅勤務を積極的に利用している。(弊社での本来の在宅勤務は未就学児がいる家庭では不可とされていたが、コロナ禍で適用制限がなくなった。)少なくとも通勤時間分は家において子供と一緒に過ごす時間が増えた。ただし、在宅勤務中の作業効率はよくないと感じている。在宅勤務による手持ち時間が少ない中でスケジュール管理を意識して工夫している。
34歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	勤務の調整がしづらい	前もって予定を確定させる
34歳	男性	0人	建設コンサルタント	休暇を取得しにくい	工夫できていない
38歳	男性	0人	建設コンサルタント	役所都合により、仕事のスケジュールが立てづらい。	先手先手で早めに仕事を終わらすよう努めている。
35歳	男性	1人	建設コンサルタント	もうすぐ第2子が生まれるため、今よりも家庭で求められる役割が大きくなる。今よりもこまめな時間管理を行いながら、働く必要がある。	テレワークを活用しながら、時間をうまく使い分けるように工夫しようと考えている。
36歳	男性	2人	建設コンサルタント	特に	
33歳	男性	1人	建設コンサルタント	役所都合（や議員都合）による突発的な対応依頼があったとき	幹部を交えた当初からの合意形成
36歳	男性	1人	設計事務所	社内の意思決定手順の煩雑さに不自由を感じることがあります。	社内ルール上、必要な手続きなのであまり工夫できていません。強いて言えば、上の立場の方に、小まめに情報を共有しています。
33歳	女性	0人	建設コンサルタント	仕事と家事の両立	テレワークを増やす
33歳	男性	2人	建設コンサルタント	通勤が長い	在宅勤務
34歳	男性	0人	建設コンサルタント	残業が多い	効率よく作業する。全体のバランスを見ながら作業する。
34歳	女性	0人	建設コンサルタント	就業時間（定時）外に残業が発生するときに、プライベートとの両立が難しい	現在テレワークのため、最終的な労働時間を確保しつつ、プライベートの予定を定時・定時外に関係なく自分の裁量でこなしている。
39歳	男性	1人	建設コンサルタント	全般的であるが、結婚・子供ができて仕事に割ける時間が限られること	効率よく仕事をする。成果品質について完璧の手前に適切なラインを決める。育児と両立していることを周りにアピールする。結果、仕事でうまくいかない点があっても深く諦める（心の持ち方で解消）。
35歳	男性	0人	建設コンサルタント	特になし	

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それはどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
34歳	女性	1人	建設コンサルタント	産休育休前と同様には働けない（子供のお迎え時間までには帰らないと行けない…残業したくてもできない；自身の要領が悪いせいもあるかもですが）。	仕事量の見直しや報告書等の共通様式の作成などを行っている。
35歳	男性	1人	建設業	特になし	
30歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	職場のWeb会議の準備などを詳しいからという理由で押し付けられたとき	自身の作業手順について誰でもわかるようにマニュアル化
33歳	男性	0人	建設コンサルタント	特にありません。	
31歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	残業が多すぎる。ムダな業務が多すぎる。	会社からの評価を気にしない。
35歳	女性	0人	建設コンサルタント	基本的に1人で業務をこなさなければならず、代わりを立てる事が難しい場合もあり、子どもを持つことが難しいと感じる	分担できる仕事はなるべく先輩にも関わってもらいたい
32歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	仕事がおもしろくない。	自己啓発する。
30歳	女性	0人	鉄道・高速道路・空港	土木の分野だと現場にいなければならないことも多く、家族の転勤についていけなかったり、離れて暮らさなければならない時がある。	昨今の時流に乗って、よりリモートワークが推進出来たらよい。
31歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	ない。日々、大事な仕事に没頭できている。	
32歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	とくにありません。	
30歳	女性	0人	学校	今は一人暮らしなので生活のことは後回しにしているが、連日深夜帰宅でようやく仕事が回っているので家族が出来た時は困るだろうなと思っている。	今は特に工夫はしていません。
30歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	コロナ渦のなかで、現場を思うタイミング、頻度で見れないこと。打合せを直接実施できないことの難しさ。	施工会社から写真等の報告をより詳細に依頼している。打合せ前に資料を確認し、オンライン会議でも相違の生じないようコミュニケーションをとっている。
38歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	特にありません。	
30歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	他社と上司の板挟みになる場面など	双方への説明方を変えるなどの工夫をしています。
34歳	男性	0人	建設コンサルタント	慢性的な長時間労働により、家庭生活への支障をきたすときがある。特に繁忙期は社内調整ではどうにもならないため、発注時期の分散等、公共事業全体としてのシステムを変えていくしか抜本的な解決とはならない。	残業する／しないで日ごとにメリハリをつける
35歳	男性	1人	建設コンサルタント	育児と仕事との両立。共働きの妻に負担をかけている。	土日は妻をなるべく休ませて家事・育児を行う。ただし自己研鑽の時間が削られている。
32歳	男性	2人	建設業	夜勤が多く、妻に子育てを負担させてしまっていることに申し訳なさを感じる。	自分が不在の時間の子供の様子をヒアリングして、不安や悩みを共有しようとしている。昼勤時や休日は子供と過ごす時間を多くとれるよう意識している。
31歳	男性	0人	建設業	通勤時間が長く、時間外労働を抑えても、帰宅時間が比較的遅くなっている。そのため、平日に関しては、家族の時間が少なく、会社と家を往復する毎日となっている感じがする。	フレックス制が導入されているため、早出をして、なるべく早めに帰宅できるようしている。また、週末については、現状週休2日（内勤のため）が確保されているため、家族との時間が取れている。
39歳	男性	2人	地方公共団体	ある程度自分のペースで仕事ができおり、有給休暇も取得できているので、働きづらさを感じることはない。	特になし。
31歳	男性	0人	建設コンサルタント	他部署との連携において上司が妨げとなる。	事後報告
31歳	男性	0人	建設コンサルタント	残業が多い	なし
33歳	男性	1人	建設コンサルタント	本音は平日ももっと子育てを配偶者と共に行っていきたいが、仕事の量および責任感が上がり、残業せざるを得ない時もある。	メリハリを付け、早く帰る曜日（ノーマルデー）と遅くまで頑張る曜日を極力区別している。現在、妻は育児のため仕事を行っていないため、平日は事前（朝）に帰る時間を極力報告するようにして、時間通りに帰宅できるよう心掛けている。
37歳	男性	3人	建設コンサルタント	家庭との両立	家族に我慢してもらう。
34歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	事業所の人数が少なく、自分が休むと仕事が止まるため休みづらい。	早い段階で休む日を決めておき、スケジュールの調整をする。

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それほどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
31歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	テレワークが主体となり、打合せもWeb会議がメインとなっており、生産性は高められているが、面と向かったコミュニケーションが少なくなり、コミュニケーション不足を感じている。	積極的に電話等でコミュニケーションを取るようにし、出社するときは満遍なく声掛けするようにしている。
37歳	男性	3人	地方公共団体	職場の人間関係	部下とは適切な距離、コミュニケーションを図る。上司とは目的意識の共有を密にする
37歳	男性	2人	地方公共団体	子育てとの両立	可能な限り効率的に仕事を終わらす
31歳	男性	0人	建設コンサルタント	目標が高く、仕事量が多いため労働時間が長い。また、業務に関する責任が重く、不安になり精神的に追い込まれることがある。	極力自分の時間を確保し、手軽にリラックスできる趣味を見つける。
30歳	男性	0人	建設コンサルタント	残業が多い	開き直って帰る
35歳	女性	0人	地方公共団体	立場の違う関係各署との調整	関係者と密に連絡をとる。事前に下話をする。
31歳	男性	0人	地方公共団体	業務過多	
33歳	男性	1人	鉄道・高速道路・空港	特にない	
35歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	東京から地方の職場に出勤している。	テレワークやweb会議等を活用している
34歳	男性	1人	地方公共団体	定時退行がなかなか出来ず、プライベートな時間の確保が出来ていない。	残業する日と定時で帰行する日のメリハリをつけている。
34歳	男性	1人	地方公共団体	残業が多い	残業しない日を決める
37歳	男性	2人	建設コンサルタント	感じていない。	
36歳	男性	2人	建設コンサルタント	仕事量が多く子供とかかわる時間が少ない	平日は遅くまで残業しても休日出勤しないよう心掛けている
34歳	男性	1人	地方公共団体	定時退行がなかなか出来ず、プライベートな時間の確保が出来ていない。	残業する日と定時で帰行する日のメリハリをつけている。
36歳	男性	2人	地方公共団体	残業時間が多い	メリハリのある勤務
33歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	特にない	積極的な声かけ
32歳	男性	0人	地方公共団体	予算確保又は予算執行のための事業推進により、超過勤務が常態化しており、疲弊している。	
34歳	男性	1人	地方公共団体	定時退行がなかなか出来ず、プライベートな時間の確保が出来ていない。	残業する日と定時で帰行する日のメリハリをつけている。
34歳	男性	2人	地方公共団体	急な現場対応	早めの作業、調整
32歳	女性	0人	建設コンサルタント	災害時などの労働時間の制約、全体をとおして残業時間が多い	
39歳	男性	0人	鉄道・高速道路・空港	■社員間の仕事へのモチベーションの差が大きい点 ■個々の能力差が大きく業務量の平準化が非常に難しい。	■目標を明確化し共有する（最終アウトプット、期限等） ■各作業の持つ重要性をきちんと伝える。 ■個々のベーススキルの向上
39歳	男性	1人	建設コンサルタント	災害対応など急な出張に対応しづらい	できるだけ早めに予定を組む。親に頼ることもある。
31歳	女性	1人	地方公共団体	時短勤務をしていて、仕事が中途半端になりがち。在宅勤務をしたいが、システムが整っていないので、作業が制限される。	特になし
32歳	男性	0人	地方公共団体	残業が常態化しており、帰宅後は食事して寝だけの生活になっている。平日も自分や家族のための時間を確保したい。	必要以上の手間をかけないようにして、帰れる時は見切りをつけて切り上げている。
39歳	男性	2人	官庁・独立行政法人	深夜帰宅の翌朝の出勤時。	無駄と感じた作業は、やらない。
34歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	職場環境が変わったとき。	成長するためには必要なことと考えること。
33歳	男性	2人	官庁・独立行政法人	ない	ほうれんそうを徹底する

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それほどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
35歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	1職場が人数の割に狭く、物理的な移動に支障が生じている 2一方で、業務の割に職員数が不足しており、多大な超勤が発生している 3さらに超勤をしても予算不足により残業代が支払われていない 4コピー機などの台数が不足しており、機械の前で渋滞が発生している 5幹部が多忙を極めており、案件の説明に1、2週間待ちとなることがざらにある 6休日出勤の平日代休が取りづらい、取っても会議等の予定により結局出勤になる 7民間企業に比べ、極端にデジタル化や省力化が遅れている	5は書類を秘書に預け、とりあえず目を通してもらうようにしているが、その時間すら確保されないこともよく発生する それ以外は一般職員ではどうにもならない
37歳	女性	1人	官庁・独立行政法人	ある。子供の保育園のお迎えを担当しているため、定時退庁の必要があるが、超勤が当たり前の社風であるため、定時に帰るのが申し訳ない。	共有予定表に「定時退庁」と記載し、堂々と帰っています。
30歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	①異動が多い。そのこと自体は入省時に理解しているが、異動の内示が出るのが遅いため、家族に迷惑がかかる。②本省ではサービス残業が当然という意識を幹部が持っており、無給の労働を強いられ、モチベーションが非常に低下し、若手職員が大勢退職して待遇の良い民間企業に転職している。	対処不可
35歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	ストレスがたまったとき。	お酒を飲む。
32歳	男性	0人	大学院生	知識の少なさに気付くとき	同僚や上司との会話
38歳	男性	2人	官庁・独立行政法人	コロナの影響で感染地域への帰省が憚られる雰囲気があること	手料理や散歩、旅行などのプライベートを充実させること
36歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	休暇を取りたいがどうしても取れない場合がある。（子供の行事等）	スケジュール調整を前々から実施する。
32歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	帰宅時間をコントロールしにくい。（例：カウンターパート等から帰宅予定時間直前に急ぎの依頼が来ることがある）	帰宅が遅くなるのがわかった段階で、なるべく早く家族に連絡を入れるようにしている。
38歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	特にありません	
39歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	ありません。	
39歳	男性	4人	官庁・独立行政法人	ネガティブ思想の方と協議・調整を行う場合に働きづらさを感じる	こちらの意見は主張しつつ、少しでも相手方の思想に沿えるところを探す
31歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	特になし。	
31歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	特にない	特にない
37歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	職場で長時間勤務が続く場合	日中に集中して効率よく業務を進める
33歳	男性	0人	建設業	テレワークでの勤務がほとんどになったため、コミュニケーションがとりづらい場合がある。	WEB会議システムを積極活用している。
30歳	男性	0人	官庁・独立行政法人	特筆するような働きづらさを感じることはありません。	特に働きづらさを感じることはありませんが、日頃から家庭と仕事のバランスを保つよう心がけています。
38歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	家に帰ってもご飯が無い！ 外食するお金がないから自炊なところ	簡単レシピ
36歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	・勤務時間やテレワークの実施においては柔軟性に乏しく、勤務時間外や緊急の対応も多々あるため、家族の都合に合わせた行動（家族と食事を一緒に取る、子供の起きている間に帰宅する、配偶者の忙しい時に家事を多めに負担するなど）を取りにくい。	・朝の子供の世話や送迎を自身で行うなど、配偶者との家事分担を可能な範囲で行う。
35歳	男性	2人	官庁・独立行政法人	転勤が多い	本人では工夫のしようがない。人事で希望に沿った配置など工夫してほしい。

30代の声「働き方編」					
年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それほどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
32歳	男性	1人	建設業	もっと育児に参加したい、家族との時間を確保したい、プライベートの時間を確保したいという思いがあるが、なかなか平日は時間が取れないことが多い。しかし、ここ最近ではテレワークで通勤時間がなくなったり、フレックス勤務になったり、有給が取りやすい雰囲気があるので、以前よりは働き方に自由度や選択肢が増えてきたように感じる。	頑張る時は頑張る、早く帰ろうと決めた日は早く帰るなどメリハリをつけて働くようにしている。
36歳	女性	0人	地方公共団体	特になし	
32歳	男性	0人	地方公共団体	なし	
38歳	男性	0人	地方公共団体	特になし	特になし
39歳	男性	1人	地方公共団体	特になし	特になし
37歳	男性	2人	地方公共団体	部下の技術力の低下	日々、指導をしている。
30歳	男性	0人	地方公共団体	働きづらさを感じることはないです。	
31歳	男性	1人	地方公共団体	子育て、仕事ともに、重きをおくべき年齢になり、早く帰り育児に取り組みたいが、業務量も増え、スキルが追いついていないため、残業せざるを得ない現状 参考図書が多く、調べるのに時間を要する。	知識のある先輩、上司に聞く。 あまり関係のない業務については、見切りをつけてあきらめる。
33歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	労働時間が長くなりがち	
39歳	男性	2人	地方公共団体	超過勤務削減が求められる一方で仕事の成果はさらに求められること	特になし
35歳	男性	1人	学校	妊娠中の妻の家事や子育ての具合を見ながら、帰宅しなければならぬが、急ぎの仕事が入ったとき	朝早く起きて、仕事をする
33歳	男性	1人	地方公共団体	仕事と家庭の両立	連絡を密にとること
30歳	男性	0人	建設コンサルタント	労働時間が長く、年々目標が上がっていく一方な点に働きづらさを感じます。	特になし
31歳	男性	1人	地方公共団体	満員電車での通勤が苦痛。職場でテレワークを推進してほしい。	テレワークの推進を提案しているが、承認してもらえない。
39歳	男性	2人	鉄道・高速道路・空港	夫婦共働きのため、子供が体調を崩した際に対応に苦慮している。	コロナウイルスにより在宅勤務が導入されたことで、対応がしやすくなった。また子供と一緒にいる時間が増えて家庭内のコミュニケーションが増えた。
33歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	特になし	特になし
38歳	男性	1人	地方公共団体	特になし	特になし
36歳	男性	2人	地方公共団体	残業が続き、家事の協力が出来ない。	土日で、家族サービスを心掛けている。
38歳	男性	2人	地方公共団体	内部調整	
36歳	男性	3人	鉄道・高速道路・空港	子供と接する時間が平日朝の出かける前か土日等休みの日に限られてしまう	テレワークを週1ペースで実施している
38歳	男性	0人	地方公共団体	同世代が少なく、板挟みになるとき	気楽にコミュニケーションをとるようにしている
37歳	男性	0人	地方公共団体	特になし	
39歳	男性	3人	地方公共団体	超過勤務が当然となり、個人の資質に頼る部分が多い	一人あたりの事業量見直し
35歳	男性	3人	建設業	①現在コロナ禍で「働き方」に関してはまさに過渡期だと思いますが、 ・リモートでできること/できないこと ・リモートでやるべきこと/やるべきではないこと の各人、各社の認識の差がある場合に働きづらさを少し感じます。 ②「働き方」や「ダイバーシティ」などを推進している中で、いまだに古い体質・個人の感覚（月月火水木金金的）も残っている部分もあるところにはあるので、トップ⇄中堅⇄部下で意識の差が生じると、働きづらさ（というかマネジメントのしにくさ）はあります。 あと、答えになっていないのですが、プライベートでも仕事でも、働き方でも多様性（国籍、LGBTQ等）でも、日本は（潜在的な白人主義とかの差別はおいて）欧米諸外国に比べて不寛容なので、「働き方」等が推進されていけばいくほど暫くの間は「働きづらさ」が増していくような気がします。	①については、内容・時間・費用を勘案したうえで、できるだけ対面で行うことをまず考えます。 ②については、世間話も含めてとりあえず普段からよく喋っておくことを心がけます。
30歳	女性	0人	地方公共団体	同じ女性職員でも、家庭がある、ないで、業務量のバランスが変わること(独身だと時間制約が少ないと捉えられがち)	

30代の声「働き方編」

年齢	性別	子どもの人数	業種	日々の生活を考えたときに、働きづらさを感じることはありますか？また、それほどのような場面ですか？具体的に教えてください。	上記の働きづらさを解消するために工夫していることを教えてください。
33歳	男性	1人	官庁・独立行政法人	上司の世代と若者世代との間で価値観に大きな違いがありその板挟みにあうとき	よく話す機会をつくる
34歳	男性	0人	地方公共団体	特にありません。	
39歳	男性	3人	地方公共団体	残業続きで家に帰る時間が遅く、家族と接する時間が少ないとき	テレワークの活用など